

「住んでよかった」と思われる島へ



西ノ島町の人口は、昭和 25 年の 7,463 人をピークに減少を続け、平成 27 年 1 月末現在では 3,036 人まで減少し、高齢化率は 41.7%にまで上がりました。

このままでは、地域を支える担い手が減少し、集落機能の低下や経済活動の低下を招きます。それによって生じる税収の落ち込みや行政サービスの低下は、地域の活力をさらに損なう負のスパイラルへおちこんでしまいます。そのような事態を防ぐため、西ノ島町では様々な定住対策に取り組んでいます。

今回の特集記事では、定住対策や支援、住宅事情など 6つのキーワードに分けて紹介いたします。



小さなお子さんを持つ交流の場の一つとして、社会福祉協議会で行われている子育てサロンがあります。

また、「1 ターン者の小さな悩みをシェアする会」なども定期的開催されています。

西ノ島町での生活に興味のある方は、ぜひ一度西ノ島町役場 地域振興課 定住促進係 08514-78131までお問い合わせください。

仕事や住居のことなど、家族構成や様々な事情をお伺いし、出来る限り情報を提供し、サポートさせていただきます。

親類縁者のいない西ノ島町へ移住するのは、それなりの覚悟が必要です。

「知り合いがない。」「困ったときに頼れる人がいない。」などの理由から、多くの方が、離島への移住に対し、不安に思われます。

しかし、いざ西ノ島町で暮らしてみると、行政による様々な施策や支援、近隣の方の温かさ、自然の豊かさなど暮らしやすいところだと感じていただけると思います。

その 1

相談やサポート

その2

住宅施設の整備・充実

定住対策の中で、住環境の確保、整備は欠くことができません。西ノ島町には民間経営による賃貸住宅がないため、町が主体となって町営住宅の整備、空き家の改修等を積極的に取り組んできました。

現在、町営住宅は199戸、特定公共賃貸住宅、地域優良賃貸住宅、定住促進空き家活用住宅などを合わせると260戸の住宅を提供しています。平成27年1月末現在での、西ノ島町の世帯数1,607の内、じつに16%の人が町の整備した住宅で生活していることになります。



町営住宅第2 由良団地（浦郷地区）



現在建設中の地域優良賃貸住宅（別府地区）

しかし、町営住宅の大半は建設後20、40年程度が経過しているため改修工事が必要とされ、計画的に進められています。

また、新たな町営住宅の建設も求められており、現在、別府地区に地域優良賃貸住宅を建設しています。

一方で、空き家や空き地が増加しており、それらの有効活用方策も検討しつつ、今年度は3軒の空き家改修を行っています。

その3

U・イターン者の推移

グラフからも見て取れるように、移住し、定住をしている人数は年々増加しており、全国各地から西ノ島へ訪れています。

また、漁業後継者確保対策事業やシルバー力ディア事業などでイターンされ、定住されている方も増加傾向にあります。

